



宗四小だより

5月号

志木市立宗岡第四小学校
志木市上宗岡1-1-2
048-473-5250



<http://www.mune4syo.ed.jp/>

児童数598名 令和5年5月1日発行

目指す学校像『笑顔・感動いっぱい 虹色に輝く みんなの学校』

「いつからが大人で、いつまでが子どもなの？」

校長 佐野 隆之

以前、娘から聞かれたことがありました。みなさんならどう答えますか。

大人もみんな、むかしは子どもでした。ですから、どんなに年齢を重ねても、誰もが子どもだった頃の気持ちを心に残しているはずです。

子育ての最中、「自分にもこういう時があったなあ」と思う場面にしばしば出会いました。

おもちゃがほしくて駄々をこねる娘を見て、“そうだよ。その気持ちわかるよ”と、共感できたのは、私がかつて同様の経験をしているからでしょう。

“でも、娘のためには、理由もなく許してはいけないんだ”と思えたのは、私の親が、かつて私にそうしてくれたからかもしれません。自分の子育てやしつけは、自分の親が自分に振り向けてくれたものと、どこか通じるところがあると感じています。

子育てやしつけには2つの視点があると聞きます。

一つは、「こんなことをしてはいけないよ」という『粹』を教えること。

一つは、「こんなふうにするといいんだよ」という『形』を教えること。

「他人に迷惑をかけることは絶対にしてはいけないよ。」

「よそはよそ、うちのうち、だから我慢しなさい。」

と言われた時は、知らず知らずのうちに『粹』を教えられていたのでしょう。

また、挨拶の大切さや食事のマナーなどを厳しく言われたこともありました。それは、将来困らないよう、『形』を教えられたのだと感じています。いずれにしても、むかしは子どもだった私も、親から授けられた『粹』や『形』を生かして、大人として子育てをしました。

いつからが大人で、いつまでが子どもなのか、明確な答えは見つかりませんが、少なくとも、大人になるためには、準備や経験が必要なのだと考えます。そこで、自分が大人として大切にしたいことを、しっかりと子どもたちに教えたいうえで、こんなふうに答えることができれば素敵だと考えています。

「それは、君が自分で決めていいんだよ。」

宗岡第四小学校は、保護者のみなさんの子育てやしつけを全面的にバックアップするとともに、子どもたちの自立にむけ、精一杯教育活動に取り組みます。